



みらい見つめて 小学生議員

小学生が村へ提案! みらい議会

2月1日、「みらい議会」が村役場内の議場で行われ、小学6年生が自分達で考えた提案や村行政への質問を村長、副村長、教育長、各課長へ直接投げかけました。

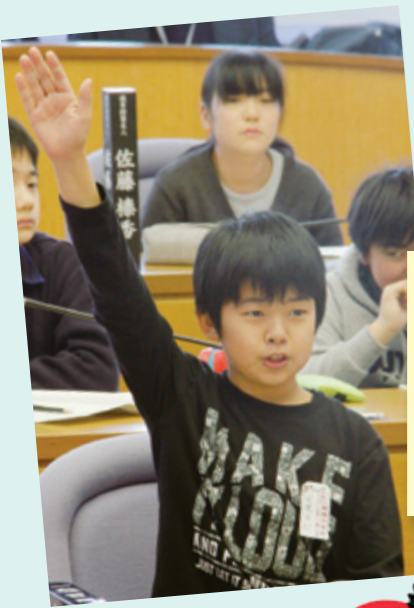
この日参加したのは、草野・飯樋・白石小学校に通う21人の児童。議長役の今野瑞希くん(飯樋小6年)が開会を宣言し、4人の議員による一般質問がスタートしました。

みらい議会では、これまでも村内の自然を生かしたレジャーランドの整備や村を応援してくれる人へ村からプレゼントを送る「ふるさと宅配便」など、子ども達が自由な発想で提案を行ってきました。

昨年夏に誕生した村公式キャラクター「イイタネちゃん」は、平成26年2月に開催されたみらい議会で提案があった「ゆるぎやらの誕生」を受けて実現したものです。



▲一般質問の他に、一人ひとりが議長、副議長、記録係など役割をもって議会の運営を行いました



「美味しいもの体験館」を提案!

安齋 佑紀さん(飯樋小6年)
村でワラビやアケビを採って、自分で調理したり、どぶろくを作ったりしながら多くの人が交流できる施設を提案します。



「マラソン、自転車合同競技大会」を提案!

三本松 博文さん(飯樋小6年)
飯樋地区のマラソンコースを活用し、マラソンと自転車の合わせた競技を開催し、村の知名度を上げることを提案します。



「音楽フェスティバル」を提案!

岡部 真翔さん(飯樋小6年)
あいの沢で「音楽」を中心とした、村の農産物や風土を体験できる音楽フェスティバルの開催を提案します。



「未来型専門学校の設立」を提案!

細杉 新太さん(白石小6年)
無人飛行機ドローンの専門学校を設立し、イベントなどでドローン技術大国としてPRすることを提案します。

